

第 5 回痕跡調査講習会の報告

2019 年 8 月 31 日（日）、あつぎアミューにおいて第 5 回痕跡調査講習会を開催しました。今回は「たべたものなあに？」と題して食べ物調査フクロウ編を行いました。この調査が行えたのは、前年度に巣箱調査班が東丹沢某所に設置した巣箱でフクロウが繁殖に成功し、その巣箱の巣材を譲ってくださったお蔭です。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

巣箱の回収はフクロウの幼鳥が完全に巣立ったことを確認できた 2019 年 6 月 25 日の午後に行いました。参加者は巣箱班の安井隊長以下、佐野さん、田中さん、遠藤の 4 名、今年の長梅雨で元気いっぱいのヤマビルにも負けず森に入りました。最近まで巣箱の近くでフクロウが確認できたということで、しばらく全員で捜索を行いましたが残念ながら発見できませんでした。その後、巣箱を下して回収し、巣箱内の巣材を確認、ビニル袋に入れて講習会当日まで冷凍することにしました。



さて、講習会当日ですが事前にメールで申し込みをしてくれた方は 17 名、その他の方 8 名で合計 25 名が参加してくださいました。講習会は定刻通り 13 時 30 分より開始、痕跡班の小林さんが野生動物調査の概要やフクロウの生態、フクロウの食べた物調査のやり方について詳しく解説をしてくださいました。



10分ほどの休憩をはさんで皆さんお待ちかねの調査の時間です。スタッフからピンセット、竹串、紙皿、ビニル手袋、マスク、黒い画用紙を受け取り準備を開始しました。紙皿をもって巣材の配給の列に並び、一掴み分の巣材をもらおうと席についてピンセットと竹串を使い小さな骨や鳥の羽根などのお宝（！？）を夢中になって探していました。最初はなかなか見つけられなかった方も目が慣れてくると次々に巣材の中から骨や羽根を見つけ出していました。当初はこの作業は1時間で終了の予定でしたが、皆さん段々と熱が入ってきてやめられない状態に・・・結局30分延長して半ば強引に終了としました。



最後に痕跡調査講習会恒例の動画タイムです。最近、センター野外施設で確認されている野生動物をランキング形式で発表しました。今回の注目ポイントは、ここ最近アライグマの確認数が増加していることです。センター近隣の民家付近で繁殖も確認されており、おそらく定着しているものと思われます。野外施設の生物多様性に影響が出る前に、センターには対策を考えていただきたいものです。もう一つの注目ポイントは、ツキノワグマの撮影に成功したことです。

思えば2年前に野外施設の沼地でツキノワグマの足あとを発見したことが私たちの活動がここまで大きくなるきっかけでもありました。今回、ツキノワグマの動画が撮影されたことを機に今まで以上に野生動物と人のより良い共生の実現と、自然環境および生物多様性の保全の手助けになるような調査活動を行っていきたいと思います。そのためには我々と一緒に調査をしてくれる仲間が必要です。一緒にフィールドワークに行ってみたいな一と思われた方は、ぜひ野生動物救護の会・事務局や痕跡調査班のメールアドレスにご連絡ください。調査活動の日程をお知らせいたします。尚、今年度の神奈川県自然環境保全センター内における野生動物痕跡調査活動、および今回開催した講習会は神奈川県「もり・みず市民事業支援補助金」から支援を受けて実施いたしました。